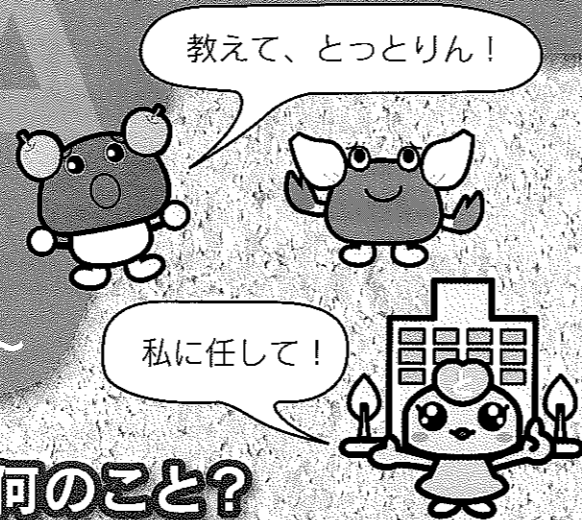


鳥取市の 公共施設の再配置 7つの質問

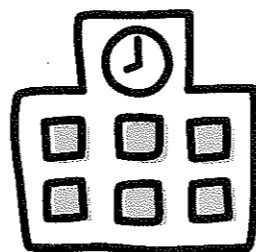
～わかりやすい 鳥取市の公共施設経営～



質問1 公共施設の再配置って、何のこと?

●公共施設とは

学校、公民館、保育園、図書館といった鳥取市が保有する公共サービスを提供する施設（公共建築物）のことをいいます。

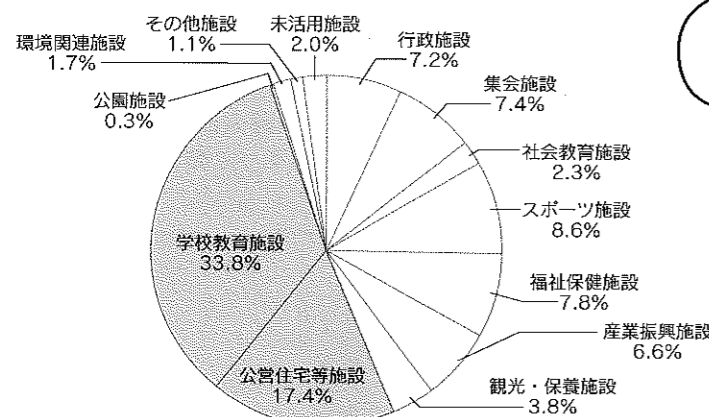


●公共施設の再配置とは

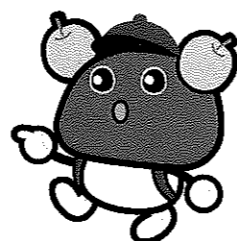
今ある公共施設について、“サービス内容”や“規模”の必要性を検討します。今後も必要なサービス（施設）であれば、それを維持・向上していくため、施設の建替えのみでなく、様々な手法を進めていくことを再配置といいます。例えば、別々のサービスを提供していた複数の施設を一つの施設に集める『複合化』、運営主体や管理方法を変更する『民営化』、『統廃合』なども再配置の手法です。

質問2 公共施設って、どれくらいあるの?

- 鳥取市は、1,001施設、1,941棟、延床面積約90万㎡の公共施設（水道、病院を除く建物）を保有しています。
- 市民1人あたりで計算すると、約4.65㎡の施設を保有していて、全国平均の約3.42㎡の1.4倍となります。
- 施設分類別の延床面積の割合



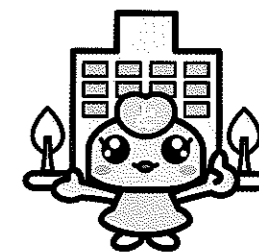
延床面積のうち、約半分は学校と公営住宅なんだね。



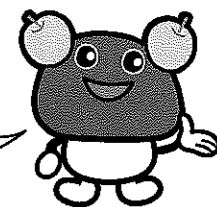
(2014年2月 鳥取市公共施設白書より)

質問6 再配置を進めると公共施設はどうなるの?

- 再配置によって効果的な施設の更新が進むことで、施設をより快適・安全に利用することができます。
- 複数のサービスが一つの施設に入れば、一つの施設で複数のサービスが受けられるとともに、利便性が向上します。また、様々な利用者による新たな交流・コミュニティが生まれるきっかけになります。
- 施設が減少することで、更新や維持管理にかかるコストが削減されます。
- 施設の有効活用を進めることで、地域活性化や収入増などにつながります。
- 施設の利用方法や位置等が、今までと異なることで不便を感じる可能性もあります。

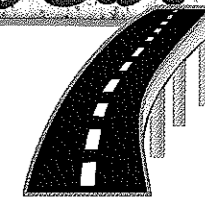


メリットの方が
多い気がするね!



質問7 建物以外の道路や上下水道などはどうするの?

- 道路や上下水道、橋りょうといったインフラも、更新問題があります。長期的な視点をもって、計画的な対応を図っていきます。
- ・それぞれのインフラについて、計画的な修繕や長寿命化に向けた計画が策定され、公共建築物と同様に適正管理の取り組みを進めています。
- ・公共建築物とインフラを対象とした「鳥取市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等全体を管理する仕組みを作っています。



●財産経営課では、公共建築物に関して、次の方針・計画等を策定・公表しています。

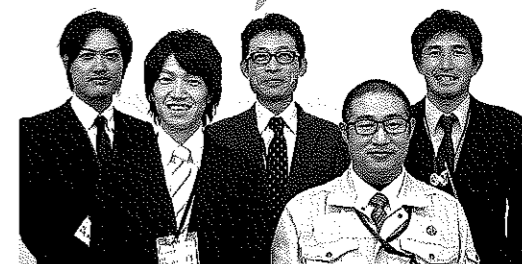
- ・鳥取市公共施設白書
- ・鳥取市公共施設の経営基本方針
- ・鳥取市公共施設等総合管理計画
- ・鳥取市公共施設再配置基本計画（仮称）
→再配置基本計画は作成中です。



公共施設の再配置は、公共サービス・市民生活を守りつつ、鳥取市を次世代に健全な状態で引き継ぐための取り組みです。みんなで創意工夫して『公共施設の更新問題』を乗り越えていきましょう!

※ご希望に応じて出前座談会を受け付けています。
※詳細は、鳥取市公式ウェブサイトをご覧ください。

鳥取市 総務部 総務調整監 財産経営課
〒680-0845 鳥取市富安二丁目138-4
電話 0857-20-3852
E-mail : zaisankanri@city.tottori.lg.jp

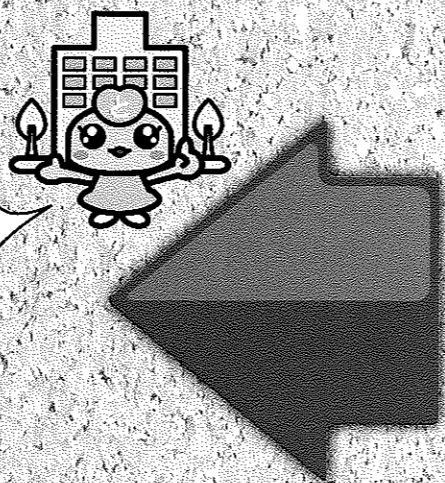


「人口減少・少子高齢社会による人口構成の変化」
 「施設更新時期の集中によって発生する多額の建替え費用」
 「限られた財源と、扶助費の増大等による財政需要の変化」

といった課題により、『今ある』施設を『今ある』場所で、
 『今ある』カタチ（規模）で保有し続けることが見直されているよ。
 これは全国の自治体共通の課題で、『**公共施設の更新問題**』*

と呼ばれているんだ。

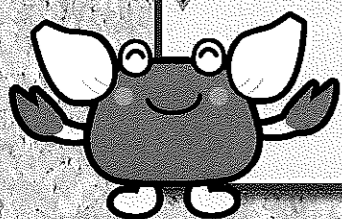
※更新…施設を建替え・大規模改修すること



だから

必要な施設（サービス）を維持し、
 みんなの生活を支えるために、
 公共施設の再配置を行う必要があるんだね！

将来を見据えて『今』考えることで、
 みんなが住みやすいまちづくりにもつながるね！



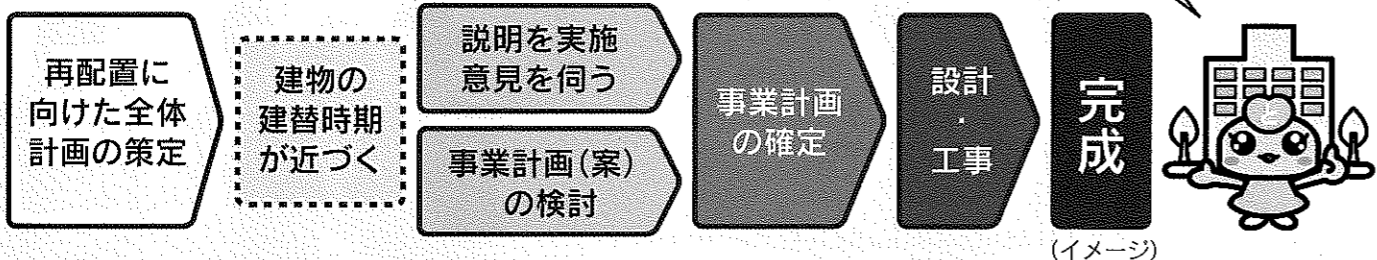
質問4 施設の更新費用は確保できるの？

●鳥取市の試算では、全ての施設を保有し続けるために必要な更新費用は、1年あたり約66億円（今後50年間の平均）です。現在の財政状況から考えると、全ての公共施設を更新する費用を確保していくことは難しいと考えています。

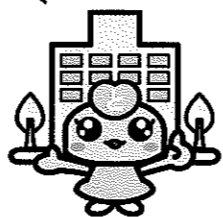
●鳥取市では必要な施設（サービス）を維持するために再配置に取り組み、今後40年間で施設の約29%（延床面積基準）を縮減する目標を立てました。

質問5 市民や利用者の意見はどのように聞くの？

●現在は、再配置の全体計画（方針）を検討している段階です。
 具体的な事業の検討や実施にあたっては、施設用途や規模に応じて、意見交換会や説明会を開催し、市民の皆さんや利用者の方々の意見を伺います。



みんなの意見で
 より良い施設を！

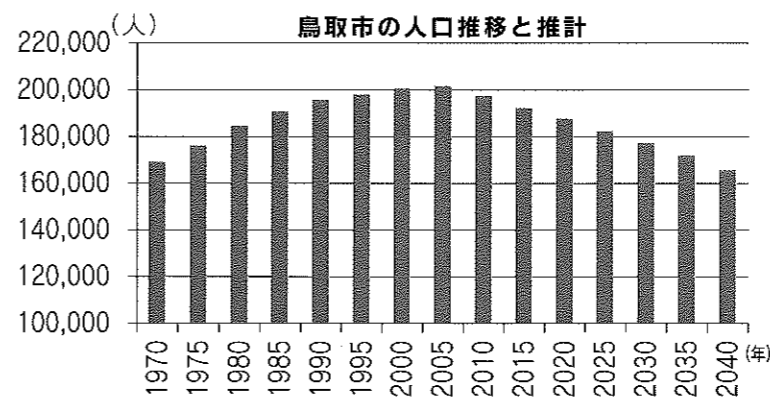


質問3 なぜ、今、再配置が必要なの？

●「人口推計」、「公共施設の老朽化」及び「財政状況」の3点から、今から公共施設の再配置（経営）に取り組むことが必要と考えています。

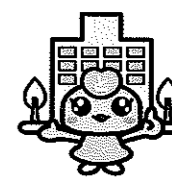
●人口推計

鳥取市の人口は2005年をピークに減少に転じ、今後も減っていきます。



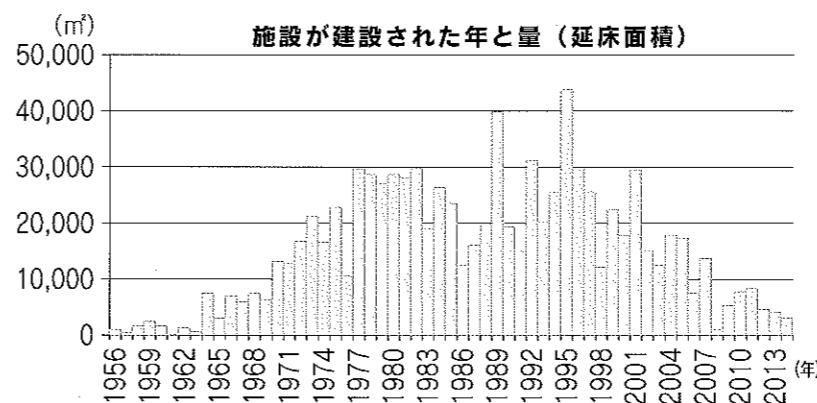
（鳥取市人口ビジョンより）

人口が減っていけば、施設利用者は減るよね。
 少子高齢化による年齢構成の変化で求められる施設も変わるし、将来を見据えて、施設のあり方を考えることが重要だよ。

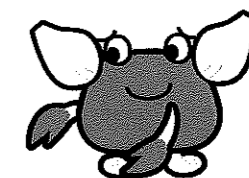


●公共施設の老朽化

高度経済成長期以降、人口の増加にあわせるように、多くの公共施設を建設しており、それらの施設の老朽化が進んでいます。

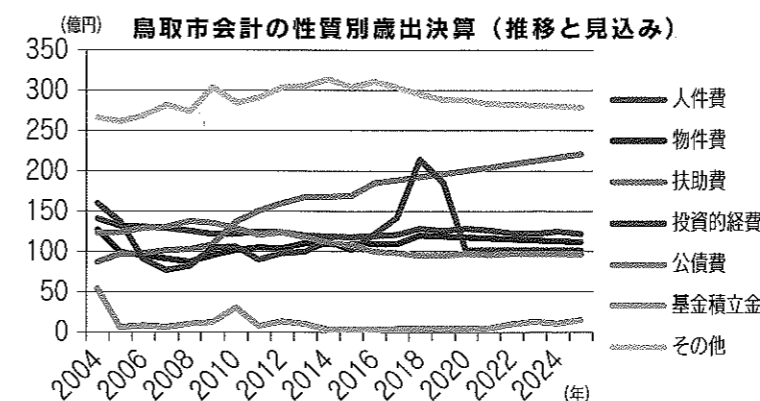


同じような時期に建設したから、建替え（更新）が必要となる時期も重なるってことか。
 ほっとくと危ないし…これから多額の更新費用が必要となりそうだね。



●財政状況

扶助費（社会福祉に要する経費）の割合が増え、公共施設の更新などに充てられる費用の確保が難しくなっています。



高齢化の影響もあって扶助費が増えているんだね。
 人口（特に生産年齢人口）の減少に伴って、税収入等が減るって聞いたし、財政状況は厳しいね。

